

| 月日 | 項目 | 管轄 |
|----------|----------------------------------------|----------------|
| 平成4年12月 | 「全国オートバイ組合連合会」が任意団体で発足 | |
| 平成5年8月 | 「より良い二輪社会を築くために」の署名を関係省庁に提出 | |
| | 盗難バイクを増加防止の為に盗難防止装置の装着 | ヤマハ発動機 |
| | 実走行距離の分からないスクーターオドメーターの改善要望 | |
| 平成6年9月 | オートバイ査定士制度の発足 | |
| 平成6年 | 通産産業省標準産業分類に2輪自動車小売業を新設 | |
| 平成7年10月 | 古物商にオートバイ商新設 | 警察庁 |
| 平成8年5月 | 古物営業施行規則に基づくオートバイ商の古物標識作成 | |
| 平成8年9月 | 大型2輪免許が教習所で取得可能 | 警察庁 |
| 平成12年10月 | 高速道路における二輪車の最高速度が100Kmlに引き上げ | 警察庁 |
| 平成13年10月 | 自由民主党オートバイ議員連盟が設立 | |
| 平成14年11月 | 警察庁生活安全企画課後援「第1回古物管理者講習会」を広島で開催 | 警察庁 |
| 平成15年6月 | 公正取引協議会に構成団体として加入 | |
| 平成15年10月 | 公正取引委員会より2輪自動車公正競争規約認定 | 内閣府 |
| ？ | HMJより整備手数料はマージンに含まれるとの通達に対する反論 | 経済産業省 |
| ？ | 不合理なりコール部品(ホンダ)の販売店在庫負担を是正 | |
| 平成16年4月 | 中企法に基づく認可団体「全国オートバイ協同組合連合会」を設立 | 経済産業省 |
| 平成17年1月 | 二輪車盗難車両データの開示 | 警察庁 |
| 平成17年4月 | 二輪自動車の高速道路における二人乗り解禁 | 警察庁・国会 |
| 平成17年11月 | 首都圏組合(東京・神奈川・埼玉・千葉)にてETC一般モニター運用開始 | |
| | オートバイ査定士技能コンテスト全国大会開催 | |
| 平成18年11月 | 二輪ETC車載器の取扱いを開始 | |
| | 駐車場法の改正により自動二輪車が法律の対象に含まれる | 国土交通省 |
| 平成19年10月 | マフラー加速騒音規制73dbを82dbへ緩和要請 | 国土交通省 |
| 平成19年11月 | 自動車公取協監修による「品質評価者」としての査定士制度の業界一元化 | |
| 平成20年10月 | 割賦販売法改正に伴う経済産業省令改正の陳情 | |
| | 車輪を3個有するもの一部に付いて二輪車への適用要望 | 国土交通省 |
| 平成21年7月 | 国土交通省より定期点検促進キャンペーン後援名義を認可 | |
| 平成21年11月 | 民主党二輪車ユーザーを支援する議員連盟が設立 | |
| 平成22年3月 | 中井国家公安委員長に二輪車駐車違反取締り見直しを要望 | 警察庁 |
| 平成22年4月 | 国土交通省大臣官房審議官に二輪車駐車場設置について要望 | 国土交通省 |
| 平成22年11月 | 自動二輪車の駐車場確保対策の経過報告開示について要望 | 総務省 |
| 平成23年3月 | 3.11東日本大震災での卓越した救援活動 | オートバイ議連 総務省 |
| 平成23年5月 | 駐車違反取締りに付いて二輪車除外地域を増やす旨の回答 | 警察庁 |
| 平成23年9月 | オートバイ向けレスキューカード「Club-AJ」*ジャックス提携の取扱い開始 | |
| 平成23年12月 | 国土交通省より有償運送許可研修団体の指定を受けた | 国土交通省 |
| 平成24年6月 | 国交大臣表彰の推薦団体の指定を受けた | 国土交通省 |

全国オートバイ組合(AJ)が取り組んだ二輪業界を取り巻く環境是正活動

各社からシャッター付き防止装置発売
一部機種5桁に

古物営業法の改正

道路交通法の改正

道路交通法施行令の改正

官報に掲載

労働対価をマージンに含むのは違法であるとの見解を得る

優越権の地位乱用

古物営業法施行規則の改正

道路交通法の改正

国内メーカーはモニターに消極的だったにも関わらず取り扱い開始

経済産業省自動車課・警察庁生活安全企画課の後援

駐車場法の改正

道路交通法施行令の改正

道路運送車両法の施行規則の新設

総務省、行政の要請で行ったので現地とのマッチングもうまくいって長期にわたる支援が出来た。一方、他の団体は殆ど動けなかった

警察庁からの通達

AJが現在取り組み中の案件・課題

・高速道路等における二輪車通行料金の値下げ陳情

・125cc免許(小型二輪)取得簡素化の要望

・高速道路路側帯の2輪走行緩和の陳情

・二輪ETC助成制度実施の要望

・二輪駐車場の建設促進陳情

・現状に則した二輪車駐車違反の取締り要望

・電動バイクのレギュレーション制定の要望

・三ナイ運動の終焉によるマナーアップをはじめ今後の課題について検討。また交通教育の義務化

★法令改正を要する案件は全てオートバイ議連に協力を頂いた